

社会民主主義 フォーラム青森 通信

NO.11

2022年3月25日

フォーラム青森

〒030-0802

青森市本町3丁目3番11号

青森県平和労組会議気付

forum-ao2021@outlook.jp

080-5413-2848 (事務所専用 TEL)

第2回立憲青森県連大会

3月20日(日)、青森市・アラスカ会館において、立憲民主党青森県連支部連合会第2回定期大会が開催されました。

県連代表挨拶、連合青森祝辞、泉健太代表挨拶など、詳細は立憲の情報に譲ることにして、大会模様を報告します。

なお前段に開催された議員団会議において、八戸の山名文世市議が県連の幹事となり、確認されました。

また、今年度から、党費については県連が扱うのではなく、各総支部に収める(扱う)こととなりました。



あいさつする立憲民主党・泉健太代表(左)
田名部匡代・(共同でない)青森県連代表(右)

質疑討論の中では、2人の方から発言がありました。

○建部玲子さん



社会党・社民党の活動を60年近くやってきた。迷いもあったが昨年立憲に入会した。基本政策の違いはそれほど無い。女性候補50%(を指す)など、若い党員の拡大に期待する。年配者は体力的にも思うように活動できないが、あなたにはこれをやってほしい、と具体的に提起してほしい。

○仲谷良子さん

立憲の活動は新聞(とかマスコミ)で見えない。街宣行動も議員中心である。努力していることを県民・市民にアピールしていくこと。党員もいっしょに行動している姿を見せていかなければならない。

○大会議長(冷水・八戸市議)

お二人の発言は、執行部答弁というよりも、今後の活動に活かしていきたいと思います。

○田名部代表

両先輩、ありがとうございます。(党全体の活動にしてください)連絡網をつくっていきます。

参院選投票日まであと4ヶ月弱 後援会・党員サポーターズ並びに2区議員団 合同選对本部立上げ集会

県連大会を午後控え、3月20日10時から、八戸プラザホテルで標記の集会が開催されました。地震で東北新幹線がストップしている中、泉代表は三沢空港着で来青しました。



田名部参議院議員を激励する泉代表

た。集会には約120名が参加し、現職の田名部まさよ参議院議員の当選のために活動していくことを誓い合いました。



大会終了後、語り合う4人
仲谷さん 田名部代表 蛭名さん 建部さん



ウクライナ支援 街頭募金活動



田名部代表 山名幹事

3月八戸市議会(山名文世)

一般(代表)質問(抜粋)

公共交通への新型コロナ支援について伺います。

バスやタクシー等の地域公共交通は、人口減少等による厳しい経営環境に加え、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響による運送収入の激減に伴い、事業者は極めて深刻な経営状況に陥りながらも、市民の日常生活の安定や社会経済活動の維持のために運行を継続しています。

八戸市交通部においても、20年度決算で営業収益は前年度比3.7%減、純損失2億3772万円となり、3年連続で赤字を計上し、累積損失は2億円を超えて14年度以来7年ぶりに赤字に転落しました。

原因は、新型コロナウイルス禍による乗客数及び運賃収入の減少が主な要因としています。岩手県北自動車、つまり南部バスも同じです。

とりわけ、バスやタクシーの乗務員は、日常的に感染リスクにおびえながらも、激減した利用客の減少に伴うストレスなどと対峙して激務に励んでいます。

一例として、北海道ハイヤー協会では、道内のタクシー運転者数は昨年10月1日時点で1万3787人中、北海道が2月に出した緊急事態宣言から、定年退職者を含めて2053人減少したと報じています。

また、栃木県では19年度末から約1年半で5社が廃業し、2社が休業を余儀なくされ、運転者も全体の約1割に当たる人の減少などが伝えられています。

八戸市内のタクシー事業者では利用客の減少に伴い、現在も独自に減車の対応を余儀なくされるなど、厳しい実態が見られます。

タクシーの減車は、車両を仮に陸運局に預けると、利用客の需要が復活しても、車両を戻すことが困難となることから、自社の庫庫にやむを得ず休車して急場をしのいでいます。

しかも、個人の自家用乗用車を新車で購入した場合、初回の車検は3年後で、2回目以降は2年ごとの車検で済みますが、バスやタクシーは初回から1年ごとの車検が義務付けられています。

従って、営業車両を休車させても車検は受けなければならないために、旅客収入の減少と相まって経営状況が極めて厳しくなっています。

また、タクシー乗務員はほとんどがオール歩合制賃金となっているために、売り上げの減少は、そのまま賃金の減少に繋がります。

そのために乗務員は生活苦から退職をすることで、タクシー事業者やバス業界は乗務員の確保が難しく、更に、バスは軽油。タクシーはLPガスなど燃料費の高騰が直撃するとともに、昨今の新型コロナやオミクロン株のクラスターなどによる感染者が急増している現状にあり、厳しい実態となっています。

そうした中であっても、公共交通の維持・確保は、地域における市民の日常生活と経済活動を支えるためにも必要不可欠な存在です。

従って、バス・タクシー事業者、及び乗務員への支援策について具体的に示して頂きたい。(2/28)

【その後決定された支援策】

3月14日、八戸市経済対策・支援事業が決定となりましたので、右欄に掲載します。

党組織の確立を!

社会民主主義フォーラム第2回総会が、3月13日、東京・中野サンプラザで開催されました。オンラインで開催された総会には、原子事務局長が参加し、青森の現状など報告しました。

詳細は「全国通信」で配信される予定ですので、2022年活動計画(抜粋)報告となります。

《立憲民主党を支える活動の強化》

党が直面する課題のひとつに「党組織の確立と強化」を掲げ、「党員が党の日常活動を支える作風」「行政区単位の党組織の確立」は、私たちフォーラムの会員が積極的に取り組むべきと強調しました。

残念ながら、立憲民主党の総選挙総括あるいは2月の定期大会で採択された活動計画では、党の地域活動の拠点たる地域組織のあり方に対する言及は極めて薄く、強い問題意識が持たれているようには思えません。

依然として立憲民主党は、組織運営が議員中心のままです。国政選挙で党所属議員が落選すれば、選挙区総支部がその都度、消滅してしまうようでは、党組織はいつになっても確立できません。一人ひとりの党員が自覚を持って活動を担うには、地方組織の確立・充実是不可欠の課題であり、ここを抜きに党の求心力が高まることもあり得ません。中・長期課題になるかもしれませんが、党員を中心とした地方組織の確立を、党強化の最重要課題と位置づけて取り組んでいきます。

(総会議案より)

【2022年度役員】(留任)

顧問	又市征治(元参議院議員・富山)
代表	吉田忠智(参議院議員・大分) 高田良徳(香川県議)
副代表	吉川元(衆議院議員・大分) 井加田まり(女性・富山県議)
事務局長	中川直人(東京)
事務局次長	仙葉久(秋田)
会計監査	浅田保雄(北海道)
運営委員	田山英次(東日本・宮城) 羽田圭二(東京) 守永信幸(西日本・大分) 横田昌三(立憲民主党事務局) 矢野敦子(立憲民主党事務局)

公共交通への支援は、路線バス3事業者の計175台と、タクシー26事業者(個人タクシー含む)の計470台を想定。

予算額は4,100万円で、バスは1台あたり10万円、タクシーは1台あたり5万円の支援が決定。

バス・タクシー乗務員への支援については、北海道「旭川市公共交通乗務員慰労金」の、支給額は給付対象者1名につき2万円の例をあげて給付を求めたが、熊谷市長は「エッセンシャルワーカー全般を視野に入れて考えている」とし、「国・県の補助金等の活用や、他都市の取組み等について研究していきたい」と逃れられた。(山名)



集会 アピール

2月24日、ロシアがウクライナへの軍事侵攻を開始した。これまで民間人を含む多数の死傷者が発生し、ウクライナの南部マリウポリでは学校・病院なども砲撃され、2,000人以上の民間人が犠牲となっている。また、ウクライナから国外への避難民は280万人を超え「今世紀最大の欧州難民危機」となる可能性がある。いかなる理由があるにせよ、こうした主権国に対する軍事侵攻は国際法違反、断じて許されるものではなく、強く抗議する。

ニュース等で映し出される子ども達が泣きながら、「死にたくないよ!」と訴えているのを見るにつけ、ロシアの侵攻がどれほど非人道的なものか明らかである。

ロシア系住民が実効支配している「ドネツク人民共和国」「ルガンスク人民共和国」の独立を一方向的に承認し、その国の派遣要請をもとにロシア軍の派遣を決めたというが、誰も信じ、理解することが出来ない。

国連事務総長も「ウクライナを攻撃するのはやめてください。平和にチャンスを与えてください。」と悲痛な訴えをしたにもかかわらず、その直後に攻撃が始まったことは、国連憲章を守るべき安保常任理事国として許されるべきものではなく、恥すべき行為である。

昨年1月、被爆者や平和を求める国々の悲願がかない「核兵器禁止条約」が発効した。しかし、ウクライナに侵攻したロシアのプーチン大統領は、ロシアが核保有国であることを誇張し、脅しとも受け取れる言動をしている。

そしてロシア軍は、ウクライナ南部にあるザポリージャ原発を砲撃し占拠した。原子炉が被害を受けるようなことがあれば、チェルノブイリ原発事故を超える深刻な被害が生じる恐れがある。原発に対する武力攻撃は「核テロ」と言っても過言でなく断じて許されない。

日本の安倍元首相や高市自民党政調会長の「核持ち込み」「核の共有」発言にみられるように、ウクライナ侵攻に乗じて、非核三原則を骨抜きにしようとの動きもある。

日本国憲法9条には「正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する」とうたっている。この理念はまさに今日の国際社会での崇高な理念でもある。

ロシアは即座に軍事攻撃を停止すべきであり、決して冷戦時代に逆もどりさせてはならない。

私たちは一切の戦争に反対し、行動すると共に、ウクライナの国民に笑顔が戻るよう願ってやまない。

2022年3月16日

ロシアのウクライナ軍事侵攻に抗議する緊急集会
参加者一同

■3月7日、フォーラム青森支部は、青森さくら野前で「ロシアのウクライナ侵攻」抗議と「戦争をやめろ」を市民の皆さんへ街頭から訴える行動を起こしました。

当日は、11名の参加と升田世喜男氏の参加でチラシ配布と街頭募金（募金額3,700円）も行った。

蛸名青森市議や升田氏は、国の主権や人権を侵害する暴挙は絶対に許せないと訴えました。（斎藤）



■3月16日にも青森駅前公園でフォーラム青森と社民党県連・県平和労組会議の三者共催で緊急抗議集会（左上写真）を開催した。急にもかかわらず66名の参加がありました。升田世喜男氏の参加もあり市民の皆さんに訴えました。その場で、各団体で今後募金活動を行うことや戦争に反対し、世界の恒久平和を目指していこうと確認しました。

【次第】

司 会	フォーラム青森	事務局次長	斎藤 憲雄
あいさつ	社民党県連合	代 表	今村 修
	県平和労組会議	議 長	阿部 一久
集会アピール	社民党県連合	幹 事 長	吉川 進

そのため、フォーラム青森としても各会員へ募金をお願いします。また、友人知人からも募れたなら募金をお願いしていただきたい。

非人道的なロシアの軍事侵攻で犠牲を強いられているウクライナの人々へ支援をしていこうではありませんか。集まった募金は立憲民主党を通じて送ることにしています。（斎藤）

フォーラム青森第6回幹事会（3/24）報告

昨年11月17日の第5回幹事会以降、コロナ感染拡大により延期になっていた幹事会を開き、この間の経過報告を確認しながら、今後の日程を決めました。

【第2回フォーラム青森定期総会】

日時 4月29日（金・祝）13:30～16:00
会場 未定（総会規模は30名）

【立憲民主党県連との協議】

日時 4月13日（水）13:30～

各支部代表者を交え、7月の参院選、11月任期満了の青森市議選、12月任期満了の十和田市議選。来年4月の統一自治体選について準備を進めたい。県内街宣行動を呼びかける。

立憲県連からは、田名部定男副代表と鶴ヶ谷幹事長が参加します。

【会費納入の対応】

各支部で会費をとりまとめ、一括送金することを基本とする。

※議案書はのちほど送付しますので、各支部では意見を取りまとめ、総会に持ち寄っていただきたい。（佐藤）

どさくさ紛れの9条改憲をやめさせよう

5・3憲法を守る意見広告掲載のお願い

毎年行っている東奥日報への「5・3憲法を守る意見広告」へのご協力を今年もお願いします。

昨年は、九条の会などからの協力で掲載数が増えましたが、これまで通り「7段組み」で掲載するためには多くの方の協力がなくてはなりません。

4月18日が締め切りとなっていることから、会員各位のご協力をお願いいたします。（斎藤）

<憲法改悪反対新聞意見広告募集要項>

- ①掲載日 2022年5月3日（火・祝）憲法記念日
- ②掲載紙 東奥日報
- ③主催 憲法を守る青森県民の会（代表：金澤茂）
- ④賛同金 ◇団体賛同金 一口 5,000円
◇個人賛同金 一口 1,000円
- ⑤賛同方法 払込取扱票（別紙／赤）

※複数で送金の際は、通信欄に掲載される方のお名前を楷書で記入願います。通信欄に記入しきれない場合は、メールまたはFAXでご報告願います。また、氏名掲載が難しい方については、出来るだけペンネームでの掲載にご協力をお願いします。賛同者の団体名ならびに個人名については、公表不可の指定がない場合、新聞への掲載をさせていただきます。

2022年1月17日から、払込取扱票において郵便局窓口およびATMで現金払いの際に加算料金（110円）が発生することとなりましたので、ご了承願います。詳細については郵便局窓口にお問合せください。

- ⑥口座名 【加入者名】平和憲法改悪反対意見広告運動
【口座番号】02290-6-63223
- ⑦締切り 4月18日（月）13時必着とします。それ以降の分については、掲載できない場合がありますのでご容赦願います。
- ⑧問合せ先 憲法を守る青森県民の会（担当：斎藤）
TEL 017-775-2401
FAX 017-775-2407

メール ao.heiwaroso@ia5.itkeeper.ne.jp 平和労組会議

●各支部においては、平和労組等とも協議しながら、出来るだけ取りまとめて送金願います。賛同者拡大の取り組みを図り、声かけ漏れ（賛同確認も合わせ）のないようにしましょう。（佐藤）

第37回

反核燃の日全国オンライン集会

日時

2022年4月9日(土)

14時～16時

場所

青森県労働福祉会館

大間原発

2028年度
運転開始予定?

2023年度
使用済燃料搬入?

むつ使用済核燃料
中間貯蔵施設

2023年度
再処理工場
稼働開始?

MOX加工工場
稼働開始?

運転再開見通せず!

東通原発

六ヶ所核燃料
サイクル施設

新型コロナウイルス対策のため、事前の検温、参加時のマスク着用、体調管理をお願いします。

みなさん是非ご参加ください

主催: 第37回4・9反核燃の日全国集会実行委員会

原水禁禁止日本国民会議 原子力資料情報室
青森県反核実行委員会(青森県平和労働会議、自治労青森県本部、社民党青森県連合、フォーラム青森、原水禁青森県民会議)
核燃料サイクル阻止1万人訴訟原告団 核燃料廃棄物搬入阻止実行委員会

連絡先 青森市青柳1丁目3-14 青森県反核実行委員会 ☎017-776-5665

4・9反核燃の日集会について

ここ2年間「4・9反核燃の日全国集会」はコロナ禍のため中止となっていました。そして、3年連続中止とは考えづらく、コロナ禍ではあるが青森県内集会へ切り替え、全国の仲間に対してはオンライン集会として開催することにしました。集会の視聴については、YouTubeで視聴可能としています。また、関係自治体や関係団体に対しては、これまでも要請行動は行っており今回についても要請及び質問状は送付することとしています。

なお、県内集会でもあり各団体への動員要請があることから後日決まり次第各支部にお願いします。（斎藤）

原水禁運動の継続のために

3月19日11時からローフク会館において原水禁県民会議の定期総会を開催しました。

今総会では①財政的に苦しい中で原水禁運動をどのように継続していくか、②組織的にも運動的にも存続させるため、青森県反核実行委員会へ組織統合するなどの組織再編を考えるかの二点が主な議題でした。いずれも組織問題であり、この点から今後一年間の討議期間を設け、次期定期総会で決定していくことになりました。今総会は、人事大会ではないため役員改選は行われませんでした。（斎藤）